

第 34 回 キャロットステーキス

御協賛趣意書

日本社会人団体馬術連盟

(第 34 回 キャロットステーキス 準備委員会)

ごあいさつ

拝啓、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から馬術の普及と馬事の振興に対し格別のご指導、ご支援を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。

日本社会人団体馬術連盟について

本大会「キャロットステークス」を主催いたします「日本社会人団体馬術連盟」は、1968 年に「社会人団体馬術同好会」として結成され、1976 年に「社会人団体馬術連盟」、1979 年に「日本社会人団体馬術連盟」と改称し、現在に至っております。当連盟は、各都道府県馬術連盟、全日本学生馬術連盟等その他の組成団体とともに、公益社団法人 日本馬術連盟の正会員として位置づけられ、日本馬術連盟に理事を派遣しています。

当連盟の会員は、官公庁や企業の職域をベースとする乗馬団体であり、現在 33 団体が加盟しており、その所属部員数の合計は約 2,500 名となっています。部員は、学生馬術界の出身者のほか、社会人になってから乗馬を始めた者も多く、平日は仕事に従事し、週末の余暇を乗馬に当てて楽しんでおり、「生涯馬術」を標榜し、日本における乗馬層の底辺拡大と健康的な社会づくりに貢献しております。当連盟および会員団体においては、自身が乗馬を楽しむだけでなく、一企業市民として、馬事の振興やスポーツ馬術の普及を通じ、持続可能な社会の実現に向けた社会的責任を果たしています。

当連盟は、会員団体及びその部員に向けた「全日本社会人馬術選手権大会」「全日本実業団障害馬術大会」、「JBG ホースフェスティバル」をはじめとする競技会の開催のほか、一般競技者向けに「キャロットステークス」を主催しており、国際大会としては日本と韓国で交互に開催される「日韓社会人親善馬術大会」を開催しています。このほか、馬術講習会や技能認定審査会等を実施しております。これらの事業の企画立案、運営には、各会員団体の中から選出された理事および委員が中心となってあたっています。

キャロットステークスとは

1980 年 (昭和 55 年度)より続く本大会も、今回で第 34 回を迎えることができました。これも皆様方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当連盟が目指している大きな目的の一つに、乗馬層の底辺拡大があります。本大会はその一環として、当連盟の会員団体に限らず、幅広い乗馬愛好者を対象とした、日ごろの練習の技量検証の場、および参加者の相互交流の場として開催しております。例年の参加者の割合をみましても、当連盟の会員団体以外の参加者が 9 割以上を、高校生以下のチルドレン・ジュニアも 1 割以上を占めております。小学生から 60 歳を超えるシニア層まで、幅広い年齢層の方にご参加いただき、乗馬・馬術が生涯スポーツであることを改めて想起させられました。

本大会で実施される競技には、大きく分けて障害馬術競技と馬場馬術競技の 2 つの種目があります。障害馬術競技(Jumping)は、障害が設置されたコースを走行するもので、馬場馬術競技(Dressage)は、馬をいかに正確にかつ美しく運動させるかを競うものです。本大会では各競技において難易度を変えたクラスを設定しており、参加者は自己のレベルに合った競技種目に出場することができます。こうしたことにより、初級者から上級者まで幅広い選手層が安全に楽しめる大会となっております。

本大会に協賛していただくことは、乗馬人口の更なる底辺拡大と日本のスポーツ馬術の拡大・向上に必ずや寄与するとともに、それらを通じた貴社の社会貢献活動をアピールする機会となるものと確信しております。本大会の趣旨にご賛同の上、何卒貴社に御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

2013 年 7 月吉日

日本社会人団体馬術連盟
会 長 菅 原 俊 之

日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

《正会員団体》

伊藤忠商事相互会乗馬部	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
(株)魚国総本社馬術部	日本中央競馬会乗馬部
NTT 馬術部	(株)日本馬事普及馬事研究部
警視庁乗馬同好会	(株)日立国際電気馬術部
皇宮警察馬術部	富士通(株)馬術部
財務省乗馬会	防衛省乗馬同好会
社会人昭和大学ライディングチーム	パナソニック(株)馬術部
衆議院乗馬会	パナソニック システムネットワークス(株)馬術部
東京都庁体育会乗馬部	三井物産(株)乗馬部
特別区文化体育会乗馬部	レッキス工業(株)馬術部
トッパン・フォームズ(株)馬術部	

《準会員団体》

茨城県庁乗馬部	日本農産工業(株)乗馬部
SET	農林水産省乗馬会
住友スリーエム馬術愛好会	ヤナギスポーツ乗馬部
セゾングループ乗馬部	山田&パートナーズ乗馬同好会
(株)損害保険ジャパン馬術部	

(平成 25 年 7 月 1 日現在)

第 34 回 キャロットステークス

開催概要

日 程	2013 年(平成 25 年)10 月 12 日(土) ～ 13 日(日)
開 催 場 所	日本中央競馬会 馬事公苑 東京都世田谷区上用賀 2-1-1
主 催	日本社会人団体馬術連盟
予 定 競 技	障害馬術競技: JBG キャロット選手権 障害馬術競技、中障害 D、小障害 100cm クラス、小障害 90cm クラス、小障害 80cm クラス、小障害 70cm クラス、低障害 60cm クラス、ビギナーズジャンプ 馬場馬術競技: JBG キャロット選手権 馬場馬術競技 L1 課目、JEF M1 課目、M2 課目、L1 課目、L2 課目、A3 課目、A2 課目、部班(駈歩、速歩)競技
エントリー見 込	約 500 エントリー 登録馬匹: 130 頭 障害馬術競技: 300 エントリー 馬場馬術競技: 200 エントリー
ホームページ	http://www.jbg.jp/carrotstakes

前回大会のご紹介

大会名	第33回 キャロットステークス
日程	2012年(平成24年)10月20日(土)～21日(日)
開催場所	日本中央競馬会 馬事公苑 東京都世田谷区上用賀 2-1-1
主催	日本社会人団体馬術連盟
開催競技	障害馬術競技： JBG自馬選手権 障害馬術競技、中障害 D、小障害 100cmクラス、小障害 90cmクラス、小障害 80cmクラス、小障害 70cmクラス、低障害 60cmクラス、ビギナーズジャンプ 馬場馬術競技： JBG自馬選手権 馬場馬術競技、JEF 第4課目、JEF 第3課目 A、JEF 第3課目 B、JEF 第2課目、部班競技
エントリ	520 エントリ 参加団体：38 団体 登録馬匹：135 頭 障害馬術競技：324 エントリ 馬場馬術競技：196 エントリ 出場区分： チルドレン(中学生以下)：3 エントリ ジュニア(高校生以下)：23 エントリ 一般：457 エントリ 社馬連会員団体部員：37 エントリ